熊本県立菊池高等学校 令和6年度(2024年度)学校評価計画表

1 学校教育目標

教育方針 「道徳性の陶冶、真理の探究、心身の錬磨」 《育てたい生徒像》

- ① 豊かな人間性と正しい人生観・世界観を備えた生徒
- ② 勉学への意欲と困難に屈せず人生を生き抜く力を身に付けた生徒
- ③ 強健な身体と強固な意志を持った生徒

2 本年度の重点目標

- ① 確かな学力の育成と個に応じた指導の充実
- ② キャリア教育の推進と個性を生かす進路指導の充実
- ③ 道徳教育の充実と命を大切にする心の育成
- ④ 国際・社会の形成者としての資質の育成と国際社会に生きる日本人の自覚の醸成
- ⑤ 体力の向上、豊かなスポーツライフの継続、心身の健康の保持増進及び安全教育の充実
- ⑥ 安全で安心できる学びの場となる環境づくりの推進
- ⑦ 地域に開かれた信頼される学校づくり

3 自己評価総括表					
評	価 項 目				
大項目	小項目	評価の観点	具体的目標	具体的方策	
	特色ある学校づ	地域を柱に社会に貢	〇探究学習の充実	〇探究学主任を設置	
学校	< b	献できる人材の育成		し、菊池市の高校魅	
経営				カ化コーディネータ	
				ーと連携して、探究	
				学習の計画立案、円	
				滑な実施を図る。	
			〇個に応じた指導	〇授業や家庭学習に	
			の充実	おいて、ICTを活用	
				し、個別学習を取り	
				入れる。	
				○二者面談、三者面	
				談を実施する。	
				〇菊池市公営「前進	
				塾」と連携し、個別	
				学習のサポートを図	
				る。	
		地域の小中学校との	〇小学校に対する	○夏休みに小学生に	
		連携	啓発	対する学習支援を実	
				施する。	
			〇中学校に対する	〇中学生向けにオー	
			啓発	プンスクールを実施	
ļ	中人然现象数 #	中人体型に即士で来		する。	
	安全管理の整備	安全管理に関する意	〇校内安全点検の	〇心身サポート部を	
		識向上	実施	中心に職員に周知・	
			○ 白鉄災宝はにも	実施する。	
			〇自然災害時に対 応したマニュアル	〇防災主任を中心に	
			心しにマーユアル と体制を整備	マニュアルを整備し 生徒、職員に周知、	
			< 仲利 を 笠加	│生使、臧貝に向知、│ │啓発を行う。	
			〇新型コロナウイ	啓光を行う。 ○感染防止意識の向	
			ルス感染症を含む	上と安心安全な環境	
L			ルヘ窓未址を召む	エC女心女王は環境	

			学校感染症防止対 策の徹底	整備を行う。 〇生徒・職員の健康 状態の把握と感染症 発生時の迅速な対応 を行う。
	開かれた学校づ くり	公開授業の推進	〇公開授業を年に 2回以上設定	〇保護者・地域への 公開授業の周知を行 う。
		広報活動の推進	○学校 HP や広報誌 「きくち」への掲 載充実	○学校 HP の迅速な 掲載 ○菊池市と連携を図 り、市の広報誌へ記 事を掲載する。
			〇熊本県教育委員 会 HP への記事掲載	〇熊本県教育委員会 HP「フォトニュー ス」へ学校の取組の 記事を掲載し、学校 の魅力を伝える。
			〇学校パンフレッ トやリーフレット の拡充	○学校説明会などの 情報発信のリーフレット作成や説明会で 説明に使用するパンフレットを充実させる。
		育友会との連携	〇育友会総会・各 種委員会の充実	〇各行事等において 育友会役員との積極 的な連携を図りなが ら取り組む。
	業務改善と働き 方改革	勤務環境等の整備	○校務分掌の見直 しと職員間の連携 強化	○校長面談等による 意見交換を通して適 宜改善を図る。 ○業務を集約、整理 して業務を適正かつ 効率化する。
			○部活動休養日の 徹底 ○定時退勤日の実 施	〇月ごとの活動計画 を提出する。 〇定時退勤日の週に おける呼びかけの実 施と会議等の精選
			〇年休等の取りや すい雰囲気づくり 〇時差出勤の導入	〇年休 12 日以上取 得者の増加を図る。 〇時差出勤の導入に より、働き方改革を 推進する。
学力	教科指導力向上	授業方法の改善	○新しい学習評価 を生かした授業づ くり	○生徒に授業アンケートを実施する。 〇公開授業を実施する。
			○評価方法の研究	○評価方法について 各教科で検討したも のを全教科で共有し 改良していく。

					○学期成績や評定の
(学習者用端末の活用) (学習者用端末の活用) (学習者用端末の活用) (学習者用端末の た					
活用)				OICT 機器の活用	〇生徒の1人1台端
を増や対記的で深跳する。				(学習者用端末の	末を活用し、パフォ
体的・対話を実践する。				活用)	ーマンス活動の場面
学びの授業を実践する。					を増やすことで、主
る。					
学習者用端末を家庭へ持ち帰り、家具としての活用を行う。 (基礎学力の定着との連携)					
展へ持ち帰り、家庭 学習の教材・教具と しての活用を行うと の連携) 「GoogleClassroom を積極的に活用する。 の家庭学習時間の 確保と充実 「会に関する事態を課し、習慣づける。 「会に関する事態を課し、習慣づける。」 「おいる。」 「対いる。」 「おいる。」 「はいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいるいる。」 「はいるいるいる。」 「はいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる					-
学習の教材・教具としての活用を行う。 (基礎学力の定着との連携) 「GoogleClassroomを積極的に活用する。 「会庭学習時間の調査を年2回行う。」 「家庭学習時間の調査を年2回行う。」 「家庭学習時間の調査を年2回行う。」 「家庭学習時間の調査を年2回行う。」 「家庭学習明週末課題のを課題のを課題のでは、「おりました。」 「おりました。」 「おりました。」 「おりました。」 「おりました。」 「は路保障」を発表した。」 「は路体制の再構築」を表現の一方である。ので、の表別を行う。また、地域変の主義の特色を行う。また、地域変変の一方で、の表別を行う。また、地域変変の特色を行う。また、地域変変者と名合格的。「おりました。」 「は路体制の本の学ので、と、生徒一人一人の学習段階に応じた指導を行う。」を表現が策)の特色を行う。「推選を行う」の、「大学、「大学、「大学、「大学、「大学、「大学、「大学、「大学、「大学、「大学					
上での活用を行う。 (基礎学力の定着との連携)					
「基礎学力の定着との連携」					
基礎学力の定着					
・					
基礎学力の定着					. —
基礎学力の定着					を積極的に活用す
確保と充実 査を年2回行う。					る。
家庭学習 (週末課題)を課し、習慣づける。 読書習慣の確立 読書活動の推進			基礎学力の定着	〇家庭学習時間の	〇家庭学習時間の調
題)を課し、習慣づける。 読書習慣の確立 読書活動の推進 〇朝読書の完全実				確保と充実	
ける。					
読書習慣の確立 読書活動の推進 〇朝読書の完全実施					
施			(注重活動の推進)	の胡詰書の完合宝	
る。		読音百頃の唯立	読者が割り推進		
本ヤリ 進路保障 進路体制の再構築 一〇進路研究の充実 一〇県立大学を中心に 入試問題の研究を教 八大学・ 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一				, ne	
利活用				〇計画的な図書館	-
注路保障 進路体制の再構築					
ア教育 (進路 指導) ○未来探究コース の育成計画の立案 (国公立大学希望 者 2 名合格) 〇学力向上企画委 員会を軸とした、 生徒一人一人の学 習段階に応じた指 導体制および国公 立大学入試に向けた指導体制の構築 本セリア教育の 推進 本セリア教育の 推進 ○未来探究コース (国公立大学希望 者 2 名合格) 〇学力向上企画委 員会を軸とした、 生徒一人一人の学 習段階に応じた指 導体制および国公 立大学入試に向けた指導体制の構築 「進路検討会を実施する。 〇菊池市公営「前進塾」と連携し、学年に応じた進路講演会および特別講座を実施する。 〇進路指導部と外部業者が連携した講話を実施する。					用を促進する。
(進路 指導) お横断で連携して行 (国公立大学希望 者 2 名合格) 〇学力向上企画委 員会を軸とした、 生徒一人一人の学 習段階に応じた指 導体制および国公 立大学入試に向け た指導体制の構築 の	キャリ	進路保障	進路体制の再構築	〇進路研究の充実	
指導) (国公立大学希望 者 2 名合格) (フ学力向上企画委 日					
者2名合格) 〇学カ向上企画委 員会を軸とした、 生徒一人一人の学 習段階に応じた指 導体制および国公 立大学入試に向け た指導体制の構築 〇菊池市公営「前進 塾」と連携し、学年に応じた進路講演会 および特別講座を実施 する。 〇進路ガイダンス 高揚と職業観の育成 の実施 〇探究学委員会と					
○学力向上企画委 員会を軸とした、 生徒一人一人の学 習段階に応じた指 導体制および国公 立大学入試に向け た指導体制の構築 ○ 対地市公営「前進 塾」と連携し、学年 に応じた進路講演会 および特別講座を実 施する。 キャリア教育の 推進 道路に対する意欲の 高揚と職業観の育成 ○ 進路ガイダンス 高揚と職業観の育成 ○ 次変学委員会と ○ な実施する。	指導) 				
員会を軸とした、 生徒一人一人の学 習及階に応じた指 戸様試の資料をもと に進路検討会を実施 立大学入試に向け する。					
生徒一人一人の学					
習段階に応じた指 導体制および国公 立大学入試に向け た指導体制の構築 の菊池市公営「前進 塾」と連携し、学年 に応じた進路講演会 および特別講座を実 施する。 キャリア教育の 推進 高揚と職業観の育成 の実施 の探究学委員会と の模試の資料をもと に進路検討会を実施 する。 の菊池市公営「前進 シよび特別講座を実 施する。 の進路ガイダンス の実施 の実施 の深究学委員会と を実施する。					
立大学入試に向け た指導体制の構築					
た指導体制の構築				導体制および国公	に進路検討会を実施
・				立大学入試に向け	する。
に応じた進路講演会 および特別講座を実施する。				た指導体制の構築	〇菊池市公営「前進
および特別講座を実施する。 キャリア教育の 進路に対する意欲の 〇進路ガイダンス 〇進路指導部と外部 高揚と職業観の育成 の実施 業者が連携した講話 〇探究学委員会と を実施する。					
施する。					
キャリア教育の 推進					
推進 高揚と職業観の育成 の実施 業者が連携した講話 〇探究学委員会と を実施する。		セカリマ粉苔の	進敗に対する音効の	○准玖ガノがいつ	
O探究学委員会と を実施する。					
		1年2年	□□河□幌木既♡日以		
「建構したインダー」()美有の美加するエエ				連携したインター	〇業者の実施する上
これの これの					
〇就職指導の充実 に企業ガイダンス積					
と企業就職希望者を極的に参加する。				と企業就職希望者	極的に参加する。

	T	T	T . — .	
			全員合格	〇でに施導る〇携察参ウ〇一3学すン生っ、複 究てセし得ヤよ年はっかまが実 学、ミ、るリるは3学、ミ、るりるは1学が発すとのどウ 一接、実の路所後す とのどウ 一接、実が発がした。 はにい タを2 施り がった とのどり からした は がった とのどり からした は 深 がらいた とのどり からいた とのどり からいた は 深 がらいた とのとり からいた とのとが からいた とのとり からいた は できる とのとり からいた は できる とのとり からいた は ないがらいた は できる という
生徒指導	生徒指導の徹底	基本的生活習慣の確 立	○段階指導の実施○挨拶の励行○遅刻の減少○私物管理の徹底	○整容面、生活面等 の指導を段階的に指 導する。 ○毎朝、正門で指導 する。 ○生徒会のあいさつ 運動を実施する。 ○組織的に取り組 む。
	安全教育の徹底	交通ルールの遵守と 安全意識の高揚	○社会のルールや 規則等を遵守する 指導の実施 ○防犯意識を高め る取組の実施	○登校指導 ○原付講習会 ○自転車点検 ○ヘルメット着用の 推進
	特別活動の推進	生徒会活動の充実部活動の推進	〇生徒主体の運営 〇部活動加入生徒 の増加と実績の向 上	〇生徒会活動を充実 主せ、学を行う。 〇生徒会活動等を充実 実と動環境との整備の 学校全化する。 学校強活動実見見い要に では、学校ではまれる。 では、学校ではないでは、また。 では、学校では、また。 では、また。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
人権教 育の推 進	確かな人権感覚 と人権意識の向 上	共通理解と意識の高 揚	○隔週1回の推進 委員会の実施 ○各種研修会への 積極的な参加	○年3回程度の職員 研修を実施する。 ○年1回以上の職員 の各種研修会への参 加を促す。 ○学期ごとに人権教 育便りを発行する。
	教育相談	相談活動の充実教育	〇支援体制の確立 と共通理解	OSC、SSW 及び関係 機関と連携した生徒 支援を充実させる。

	他者への思いや	生命の尊厳並びに、	○支援を要する生 徒・保護者への相 談体 制の整備 ○多様性を尊重し	○生徒支援委員会を 週1回開催して共通 理解を図り、支援の 方向性と役割分担を 明確化する。 ○生徒理解研修を学 期に1回実施し、全 職員の共通理解を図 る。 ○デートDVを中心
	りを育む指導	思いやりの心の育成	他者への思いやりを持たせる指導 〇講演会等を通しての啓発活動の推進	に人とのかかわり方 や言葉の使い方について指導する。 〇実態の共有と健康 教育について指導を 実施する。 〇職員による講話を 学期に1回実施する。
い い い い い い い に は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いじめの未然防止いじめの把握	いじめの減少	〇いじめを生まな い環境の醸成と、 人権に配慮した被 害生徒、加害生徒 への対応・指導	〇講実〇じ校〇てョ育〇人精教全。のはなり、のる通一のは集り、のる通一のは実活ュをすり、ののる通一のでは、ののの通一のでは、ののの通のでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののでは、のののでは、ののでは、のののでは、のののでは、のののでは、ののでは
		いじめが疑われる事案の把握の増加	○事案の把握	〇1〇一施に行〇す委催〇委回出者実じを、速。徒た会るい会策が対対にかい状の毎のめを、じ」がは、近年の場合のは、対ののののののののののののののののののののののののののののののののののの
	いじめに対する 措置	速やかな事実確認と いじめ解消に向けた 取り組みの実施	〇職員の組織的な 対応 〇いじめ解消に向 けた計画的な対応	〇関係職員で聴き取りを速やかに実施する。 〇いじめ事案の認知を積極的に行う。 〇SC・SSW等の活用を積極的に行う。

			添いながら、継続 した見守りと関係	円滑に行うとともに 人権に配慮した対応
			│した見守りと関係 │改善に向けた対応	│ 人権に配慮した対応 │ │ を行う。
地域連	総合型コミュニ	地域や関係機関との	〇行政機関や地域	○学校運営協議会を
携(コミュ	ティースクール の充実	連携	との連携強化	通じて本校の課題と
ールな		防災教育の充実	〇生徒と職員の防	〇防災訓練を実施す
ど)			災・減災に対する 意識の向上とそれ	る。 ○防災啓発の掲示物
			に関する基本的な	を作成する。
			知識の獲得	〇外部講師・地域と 連携した防災教育を
				行う。
	ボランティア活 動の推進	心豊かな生徒の育成 	〇ボランティア活 動の活性化	〇生徒会主催の清掃 ボランティアを復活
	3300 12.2		33.4.72 12.10	させ実施する。
				│○市や地域と連携を│ │図る。
				Oペットボトルキャ プロル ホホヘ共
				ップ寄付、育友会林 の維持管理活動を充
				実させる。
				〇ボランティアの窓 ロとなる職員を明確
				にする。
	学校理解 	学校理解に向けた活 動の推進	〇本校から地域へ の協力と本校学校	○地域から要請され る清掃活動等へ積極
		33.00 12.2	行事への協力要請	的に協力する。
			〇学校行事への育 友会協力のための	│ 〇育友会広報誌「大 │ │ 椋」での学校行事紹 │
			連携充実	介や活動報告の充実
				を図る。 ○育友会「一人一役
				運動」の活性化させ
				る。 ○育友会関連行事へ
				の保護者参加の増加
				を図るため、役員会
\		 ては、各学校の実態に1	<u> </u>	を充実させる。

※評価項目の数・内容については、各学校の実態に合わせ自由に設定してください。 (複数枚になってもかまいませんが、重要度の高いものに絞り、項目を整理して記入してください。)